

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第15号	
事故等種類	衝突（水門）	
発生日時	平成21年1月19日 16時44分ごろ	
発生場所	福岡県三池港 福岡県三池港内港口北灯台から真方位070° 1,090m付近 (概位 北緯33°00.8′ 東経130°25.2′)	
事故等調査の経過	平成21年1月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 <small>ハイシヤン</small> HAI XIANG（カンボジア王国プノンペン）、1,193トン 8351065（IMO番号）、HONGKONG TONGDA SHIPPING CO., LTD.	
乗組員等に関する情報	船長、国籍 中華人民共和国、外国免状	
死傷者等	なし	
損傷	右舷アンカーシャフト切断、右舷ベルマウス下方に小破口	
事故等の経過	本船は、船長ほか8人が乗り組み、三池港内最奥の岸壁を離岸し、右回りで一回転し、水門間の幅約20mの水路に向け、約2～3ノットの速力で西進中、平成21年1月19日16時44分ごろ、右舷船首が水門に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 5、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期	
その他の事項	九州沿岸水路誌によると、三池港においては、総トン数1,000トン以上の船舶は、水先人及び曳船が必要であるが、新トン数への換算により新トン数が858トンとなり、水先人の乗船及び曳船の配備はなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし 不明 本船は、水門間の狭い水路に向かう際、水門に著しく接近する態勢であったのに、停止して後進し、態勢を立て直さずに航行したものと考えられる
原因	本事故は、本船が、三池港内を西進して水門間の幅約20mの水路に向かい航行中、水門に著しく接近する態勢となった際、態勢を立て直さずに航行したため、水門に衝突したことにより発生したものと考えられる。	